

令和6年度 第2回半田市環境審議会議事録

開催日時	令和6年8月13日（火）	14時00分～15時30分
開催場所	半田市役所 庁議室	
会議次第	【議題】 (1) あいさつ (2) 議事 令和6年度第2次環境基本計画の点検・評価について (3) 市長との懇談 (4) その他	
出席委員	千頭聡、竹内一浩、服部万里子、榊原靖、市野敦紳、榊原厚、安達典孝、山田和男、高井賢治、大山仁志 ※敬称略	
欠席者	山本美津穂 ※敬称略	
事務局	環境課長 太田 環境担当副主幹 山田、環境担当 片山、墓地整備担当副主幹 森下 ごみ減量担当主査 井戸	
その他	なし	
次 第	議事概要	
1. あいさつ	—市民経済部長あいさつ—	
=====	—審議会会長あいさつ—	
2. 議事	=====	
=====	=====	
環境基本計画 の点検・評価 について	（事務局） それではここからの議事進行につきましては会長にお願いする。 （会長） 本日の議題は、第2次環境基本計画の評価・提案（令和5年度分）について、とりまとめを行う。 計画の柱が5つありますので、柱ごとに評価をする。事務局から簡単にご説明いただいたのち、各委員からご意見を伺う。 そして、最後に、第2次環境基本計画の評価・提案（令和5年度分）の採択をする。 それでは、事務局から説明をお願いします。	
=====		
柱1 ゼロカーボン社会	（事務局） 資料としまして、委員の皆様の評価をもとにとりまとめた、資料①「第2次環境基本計画の評価・提案（令和5年度分）」と、各委員の評価を一覧とした資料②「環境基本計画評価表まとめ」の二つの資料となる。また、資料②の中で、各委員から質問に対する回答も記載している。 本日は、資料②は参考として、資料①を中心に説明をする。	

===== 柱2 資源循環社会	資料①は4ページ、資料②は1ページをご覧ください。 中段、委員の評価ですが、「達成度A」が9つ、「達成度B」が1つでした。暫定ではありますが、評価を「A」で記載をしているが、案として記載をしたものであり、本日の会議で採択をして決定をお願いする。 委員の皆様からは、様々なことに取り組んでいることに対して評価されており、多くの意見をいただいた。 評価できる点 市民・事業所・行政が、それぞれの立場でゼロカーボンに向けて取り組み順調に削減に繋がっている。 また、CO2フリー電力の導入や公共施設照明のLED化な民間への波及も期待できる先進的な取り組みや、市民を巻き込んだ「脱炭素チャレンジ事業」や「市民討議会」など、積極的に新しい取り組みにもチャレンジできており、市の姿勢と評価できる。 期待したい点 更なる高い水準を目指し、事業を通じたゼロカーボンにむけた環境作り・人作りを期待する。公共交通機関の利用については、アイデア募集など利用促進に向けた検討を進め、気候変動対策は、今後、適応策に積極的に取り組むこととなっている。 評価できない、問題と思われる点 ゼロカーボンに関し、脱炭素への意識の低さや、コミュニティバスの認知不足などを感じることがあり、PRが不足している点。 柱1の説明は以上。 (会長) 皆様の意見が取りまとめられているかを確認いただきたいのと、多数決ではないということをご理解いただきながら、全体としての評価を決めていきたい。 柱1の評価については、Aとまとめたいと思うが、いかがか。 (委員) 質疑なし・異議を唱える者なし (会長) 以上で、柱1については終了する。 続いて柱2についてお願いしたい。 (事務局) それでは、柱2の説明をする。 資料①は6ページ、資料②は7ページをご覧ください。
----------------------------	--

中段、委員の評価ですが、「達成度 A A」が6つ、「達成度 A」が4つでした。暫定ですが、評価を「A A」で記載をしてる。

柱2では、ごみ減量化がすすんでいることから、A Aの評価をいただいております。今後のさらなる高みを目指して取り組むことへの期待する意見をいただいた。

評価できる点

順調にごみ排出量が減少していること、還元策により、メリットを伝え、減量へのモチベーションが維持されている。また、指定ごみ袋のレジ袋販売など、ごみそのものの削減に多角的に取り組んでいることから、今後のごみ量の減少につながる事が期待できる。

期待したい点

半田市よりもごみ量を削減できている自治体もあるため、より高い目標を目指すとともに、事業系ごみの削減にも啓発など取り組むことを期待する。また、ごみ量削減に向けたリサイクルの推進に向けリサイクルセンターが拠点となり、更なるリサイクルの発展を期待する。

続いて、7ページをお願いしたい。

評価できない点

地域で実施している資源回収が統一的に行うことで、更なる資源化をできる見込みがあり、食品ロスの啓発も十分に浸透していない点。

問題点

不法投棄について解決策が見いだせないことが課題。

柱2の説明は以上です。

(会長)

それでは柱2についてご質問ありますか。

(委員)

実際に指定ごみ袋をレジ袋として利用する方は多いですか。

(事務局)

導入いただいている店舗数が少ないこともあり、これからというところである。

(市民経済部長)

エコバッグを忘れてしまった時など、レジ袋を買うくらいなら指定ごみ袋の方がいいのではないかと考えて実施しているもの。従来の大きさよりも小さいサイズを用意したことで、活用を促していきたい。

===== 柱3 自然共生社会	(委員) 評価の仕組み上、同じ内容を見ている、委員によって評価が異なる。基準を作り、誰が評価しても同じ評価になる仕組みにする必要があるのではないか。 (事務局) 評価の基準については2ページに記載している。委員によって多少異なることは避けられないと考えている。 (委員) 私はA評価をつけたが、あくまでも内容を見て付けた評価である。目を外に向け、知多5市5町と比較した場合、半田市は頑張っている。 (委員) これだけごみを減量できたことには様々な要因がある。ただ、実際にかなりの量を減らせていることは事実であり、それもあり私はAA評価をつけた。 減り幅は今後変わるかもしれないが、ごみの減量にフォーカスした項目であるため、これだけ減らせているのであればAAで良い。 一方で、重要なのはこれから更に減らすためには何をしなければいけないかを考えていくことである。 (委員) 目標値をもっと高くしていくことも考えなければいけない。 (委員) 他の自治体の目標値はどうか。 (環境課長) 半田市は今年度の目標値を420gに設定した。全国統一の目標値は無いので、自治体ごとに目標値を決めている。近隣では武豊町の実績値が420gと最も低かったため、これを参考に半田市の目標値を設定した。 (会長) 審議会としての評価をしたい。 柱2の評価については、「AA」とまとめたいが、いかがか。 (委員) 異議を唱える者なし (会長) 以上で、柱2については終了する。 続いて柱3についてお願いしたい。 (事務局)
----------------------------	---

それでは、柱3の説明をする。

資料①は8ページ、資料②は11ページをご覧ください。

中段、委員の評価ですが、全員が「達成度A」でしたので、暫定ですが、評価を「A」で記載をしている。

評価できる点

南狭間公園整備や童話の森事業、はんだ水辺マップなど総合的に取組んでおり、かいどりや水生生物調査など継続的に実施されている点が評価できる。また、得たデータを活用して水辺マップ作成や SNS による世代に即した広報媒体を使うなど啓発を工夫している点などが評価できる。

期待したい点

情報発信の強化により環境に関心をもつ市民が増加することや、外来生物に対する取組、学校給食で行われている地産地消の PR をすることを期待する。

評価できない点

水質改善がされない矢勝川において、親水性が発揮できていない点や外来生物の周知不足。

問題と思われる点

耕作放棄地の調査方法について、分析のためには従来の方法も一定期間必要である。遊休農地の利活用。

4つ目に関しては、農家の問題でも取り上げられておりますが、高齢化による後継者不足といった課題はボランティア中心に行われている活動においても課題となっている。

柱3の説明は以上です。

(会長)

それでは柱3についてご質問ありますか。

矢勝川の問題が大きな課題かと思いますが、いかがか。

(委員)

矢勝川の水質改善は半田市だけが頑張っても解決が難しいと聞いている。これだけ水質が悪化していることを外に向かって発信することで、半田市だけの問題ではないことを多くの方に知ってもらうのも必要ではないか。市民向けのお知らせとして、マイナスの現状をもう少し情報発信できると良い。

(委員)

委員がおっしゃる通り。

阿久比町と異なるのは、半田市側は住宅地だが、阿久比町側は農地。矢

===== 柱4 安心・ 快適社会	勝川の水質が悪化していることを阿久比町民が認識していないことで意識が向かないのも原因かと。観光地としてPRしていくのであれば、きれいな川にしたい。 (委員) マスコミが取り上げてくれる話題として、南吉に絡めていくと良い話題提供になるのではないかな。 最近だと、フランスのセーヌ川の水質が良くないということで、日本の道頓堀と比較して報道されていた。矢勝川でも同じことができるのではないかな。 南吉に関連した取材を受ける場合にも、事前に情報発信できる準備をしておくことで、マスコミにも取り上げてもらえる可能性がある。テレビ等で報道されることで、阿久比町民にも見てもらえるかもしれない。 (会長) 県にも仲介してもらい、動いていただいておりますが、法律的に難しい部分があると聞いている。ムーブメントを作っていく必要がある。 (委員) 事業者が法律に違反していない以上、指導が難しいというのが現状。 (委員) 河川の水質については、薄めることのできる水源があるかどうかも重要。矢勝川上流の半田池が無くなったため、矢勝川の水を薄めるために他の水源と繋がれると良い。 (会長) 質疑が終わりましたので、審議会としての評価をしたい。 柱3の評価については、「A」とまとめたいが、いかがか。 (委員) 異議を唱える者なし (会長) 以上で、柱3については終了する。 続いて柱4についてお願いしたい。 (事務局) それでは、柱4の説明をする。 資料①は10ページ、資料②は15ページをご覧ください。 中段、委員の評価ですが、「達成度A」が9つ、「達成度B」が1つでした。暫定だが、評価を「A」で記載をしている。 昨年も同様ですが、「矢勝川」に関して多くご意見をいただいた。
----------------------------------	---

===== 柱5 協働	評価できる点 モニタリング活動による監視活動の継続実施や下水道の接続率向上への啓発活動など地道に継続した取組による成果を得ており、継続している野良猫問題へも助成制度創設といった新たな取組をお恋生活環境の維持に努めている点。 期待したい点 「水辺のクリーンアップ大作戦」は多くの市民や事業者が集まる場として定着しており、PR する場として活用することも大切であり、畜産臭気に関しても、取組に加え、畜産農家の対策や産業都市構想の取組などを情報発信による市民への理解促進を図ること。 評価できない、問題である点 協定内容の見直しや立ち入り検査の未実施など環境保全協定に関することと水質改善に有効策が見いだせない矢勝川に関する点。 柱4の説明は以上です。 (会長) それでは柱4についてご質問ありますか。 (委員) 半田病院が移転すると、これまで臭気を気にしていなかった人たちが気にしだすのではないかと。病院が別組織になるため、市と一緒に考えていくべき問題である。市内でも、例えば亀崎方面に住んでいる方は、これまであまり気にしていなかったが、病院に行くのがきっかけとなり、気にされる人もいるのではないかと。臭気を出していけないわけではないですが、この機会に減らしていけると良い。 (会長) 質疑が終わりましたので、審議会としての評価をしたい。 柱4の評価については、「A」とまとめたいが、いかがか。 (委員) 質疑なし・異議を唱える者なし (会長) 以上で、柱4については終了する。 続いて柱5についてお願いしたい。 (事務局) それでは、柱5の説明をする。 資料①は12ページ、資料②は19ページをご覧ください。
------------------------	--

中段、委員の評価ですが、全員が「達成度A」でしたので、暫定ですが、評価を「A」で記載をしている。

評価できる点

市民活動や事業所活動の取組が増えており、イベントを通じた意識の醸成も図られ、環境分野における「協働」が進んでいるところ。

期待したい点

環境学習や環境活動をわかりやすく伝え、市民が選び、参加できる仕組みが作られることで、より一層活動が盛んとなることに期待する。また、ごみを出さないことが当たり前となるような意識改革や農業体験を通じた環境を考えるきっかけづくりが取り組まれることを期待する。

評価できない点

全体に関連するが、見てもらえるような情報発信の工夫が足りない点。

問題と思われる点

ボランティア中心に活動する団体の後継者不足。環境施策にはコストがかかってしまう点。

柱5の説明は以上です。

(会長)

それでは柱5についてご質問ありますか。

イベントやお祭りでは、ごみが出るのが前提になっていますが、大阪の天神まつりではごみをゼロにする取り組みを行っている。こうした取り組みも参考になる。

(委員)

ごみゼロというのはどういう取り組みか。お祭りやイベントを行い、屋台が出れば当然ごみが出るもの。それぞれが持って帰るということか。

(会長)

ごみを持ち帰るのも方法の一つである。

屋台側もごみが出る前提で商売をしているため、呼びかけをするなどして、そもそもの容器を工夫したりすることで、ごみが出ない工夫ができるかもしれません。限りなくごみを減らすという視点を盛り込んだお祭りも面白い。

大学祭でのごみゼロは既にいくつかの大学が取り組んでいる。器の再利用などを実施しているが、保健所の問題で難しい部分もある。

それでは、質疑が終わりましたので、審議会としての評価をしたい。

柱5の評価については、「A」とまとめたいが、いかがか。

(委員)

	異議を唱える者なし (会長) 以上で、柱5については終了する。 すべての柱について評価が終わりでしたが、委員から出された意見についても市の内部で共有していただきたい。 特に委員からのコメントにそれぞれの真意が含まれていますので、そこを行政運営に活かしていただきたい。 それでは、本日の議事である環境基本計画の評価については終了する。
===== 3. 市長との 懇談	―市長あいさつ― (委員) 本日の会議でも話題になりましたが、矢勝川の水質悪化が課題です。半田市だけで解決できる問題ではありませんが、多くの人がある南吉記念館と絡めて、外に向かって情報発信することで多くの人に現状を知ってもらい、水質改善に繋がる取り組みにつながることを期待する。 (市長) 矢勝川の水質の問題について、何かしら取り組んでいくべきということは認識している。どのように実施していくかを含めてしっかり検討する。 (委員) 矢勝川の水質が悪化していることを知らない人も多いため、まずは住民に知ってもらうことから始めてはどうか。 (委員) 南吉記念館は半田市の資源である。都会から来た人は、あの景色を見て素晴らしいと感じている。これから彼岸花が咲く季節が来て、多くの人を訪れますが、今のままでは見に来られた方ががっかりする。 もう少しで良いので、底が見えるくらいの水質になると、見た目だけでも改善されると感じる。阿久比町と一緒に、観光資源として開発するなど、南吉記念館をベースに矢勝川の水質を良くする方向に繋げてほしい。 (委員) 半田市が全国でも先駆けてゼロカーボンシティを表明したことを高く評価できる。これまでの取り組みでも、CO2 フリーのエネルギーを導入し、独自のバイオマス産業都市構想を掲げるなど、ゼロカーボン社会を目指した先進的な取り組みを実施している。 一方で、ゼロカーボンに無関心な市民が多いことも事実ですので、施策を進めることに加えて、啓発にも力を注ぐともっと良い取り組みとなる。 (会長) CO2 フリー電力の導入は、近隣の自治体にもっと宣伝して良い。

半田市は市内のバイオマス発電所で約 30 万世帯分の電気が作られている。この量は知多半島すべての家庭の電力を賄えるほどの量であるため、再生エネに関してかなりの先進都市であると言える。このあたりについても、もっと PR して良いと思う。

(市長)

知多半島で 1 番や、愛知県で 1 番といった話題は、事あるごとに PR していきたいと考えている。環境関連の話題についても、こうした PR ポイントをおさえて、しっかり PR していく必要があると感じている。

(委員)

臭気の問題について、半田病院が移転することで、臭気を感じる患者がかなりの数増えることが予想される。臭気は難しい問題で、酪農が大切なことも理解していし、農家さんが頑張ってくれていることも知っているが、今回の病院移転で関係する人が増えることを契機に、プラスに働きかけることへ繋げてほしい。

他にも、学校では授業で SDGs が取り上げられ、私達が小学生だった頃より環境の勉強をしている。子どもたちが始めると、その子の親や祖父母にまで波及していくので、親世代にも伝わるよう啓発活動をしてもらうことで、ムーブメントを作れる。

(市長)

臭気問題は決定打となる解決策が無く、天候などの条件によって強さも異なるため定量的な評価がしづらいことが課題と感じている。病院が移転することを機会に解決策が出てくることも期待したい。

情報について、行政として発信しているつもりなのですが、なかなか届いていないという課題がある。これまでは市報として紙媒体でお届けしてきたが、現在はデジタルでの発信も併せて行っている。

子どもや保護者の方へ発信する手段として、学校のアプリなどで発信する方法も考えられるが、情報が多くなりすぎると逆に届かない原因となる。

情報を受け取る側として、市の情報がどのように発信されると受け取りやすいか意見を聞きたい。

(委員)

実際に SNS での発信は受け取りにくいのではないかと思います。

以前 PayPay とのキャンペーンを実施された際は多くの反響があったと思うが、こうしたみんなが関心の高いキャンペーンと情報発信を絡めていけると良い。

(委員)

自治区として年に 2 回、3 R の説明会を実施いただいている。3 R の説明会で、3 R の説明とは別に環境への取り組みを PR しても良いのではないか。自治区に加入している人は私の地区だと 50% ほどだが、少しず

	つでも理解が広まれば良い。 (委員) PRの方法として色々ありますが、ホームページを見る習慣をつけてもらうの一つの方法である。そのため、イベントの様子をリアルタイムでホームページに掲載することで、イベント参加直後の関心の高いときにホームページを見てもらうとよい。 他には、YouTube に動画としてアップロードすることで、写真では伝わりづらい臨場感など感じてもらえると思う。情報量も多いので、動画で発信していくのは一つのポイントだと思う。 (委員) 例えば、アプリを開くとポイントが貯まって、そのポイントでコミュニティバスに乗れるといったことができれば、広報に加え公共交通の利用促進にも繋げられる。 (市長) 今お話をお聞きして、発信も大切ですが、関心を持ってもらうことが大切だということを感じている。また、3R 説明会など、お集まりいただいた場を活用した情報発信をも大切であると改めて感じた。 —市長懇談終了—
===== 4. その他	(事務局) 今回の評価に加え、いただいた意見等については関係課へ共有し、今後の施策展開へ活かしていく。 また、会議録については委員の皆様を確認いただいた後、HP に掲載する。併せて、市長への答申の様子についても掲載予定。 (会長) これをもちまして、第2回環境審議会を終了する。
	(終了)